

# 2019 FCI 神奈川インターナショナルドッグショー ジャッジ紹介

## ダナ クライン (アメリカ)

私は長年グレートデンのブリーダーとして活躍しておりました。スペシャリティーのBISS、オールブリードショーにおけるグループウイナーやBISなど多数のプロデュースに成功し、またオールブリードのプロフェッショナルハンドラーとしてもあらゆるグループの犬種で多数のBISを受賞する実績を重ねることができました。

その後、審査員としてナショナルスペシャリティーやウエストミンスターショーなど年間多数の機会を重ね、現在AKCにおける全犬種とBISの資格を有しております。アメリカを中心にイギリス、オーストラリア、アジア諸国などで審査をしております。

## ロバート ハットン (アメリカ)

私が犬と深く関わるようになったのは、63年前に初めて所有したベドリントンテリアがショーに於いて、RWDを受賞したことがきっかけでした。この犬が名血の産で、ラインブリーディングにより、良犬を多数作出致しました。1970年代前半には、ダンディディモンテリアに興味を惹かれ、より良い犬の作出に努めました。この頃からプロフェッショナルハンドラーとして活動を始め、主にテリア、ハウンド、トイ、ノンスポーティンググループの犬達を引いておりました。現在、AKCの審査員として年間70～80回の審査を国内、国外でしております。これまでにウエストミンスター展、モントゴメリーカントリーケネルクラブなどでも審査してきました。最近ではショーの無い時は海外旅行を趣味としており、日々の犬との生活と旅行を楽しんでおり

## ロイド グレイザー (アメリカ)

私はドッグスポーツに45年以上関わってきました。審査員資格を取得する前は、1978年よりプロフェッショナルハンドラーとして活動しておりました。

メインはハーディンググループの犬達ですが、そのほか多くのスポーティング、トイ各グループの犬達も取り扱っておりました。お招きを光栄に思いますし、数多くの犬達を審査することを楽しみにしております。

## リサ グレイザー (アメリカ) 〈初来日〉

私は1989年に2頭のシェルティーで服従を始め、CDXを獲得しました。また「Kennel Blue Heaven」の最初の繁殖は1993年のこととなります。

これまで、2011年のASSAのベストインフチュリティー、アワードオブメリット、2018年のASSAのRWD、RWBベストインフチュリティーなど、20回のBISS、3頭のトップダム、7頭のROM、オールブリードショーのBISなど作出してまいりました。

ショーの審査は15年間務めてきました。現在、ハーディンググループ、トイグループ、ベストインショー、テリアブリードの審査資格を取得しています。

審査員として招請していただきありがとうございます。

## サイモン シム (フィリピン)

私が犬の世界で本格的に活動を始めたのは、1987年ロットワイラーのブリーディングケネル (Lion Bear) を設立してからになります。その後、色々な犬種を手掛けましたが、2002年にブルマスティフ、2013年に柴を始めました。常にトップランキングのロットワイラーやブルマスティフをプロデュースしてきたことの自負があります。

現在はオールブリードジャッジとして活動しており、自国、オーストラリア、カナダ、中国、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、ロシア、シンガポール、南アフリカ、スリランカ、スウェーデン、台湾、タイ、アメリカなど多くの国で審査経験があります。また、フィリピンケネルクラブの理事職、審査員協議会などの役職も兼任しております。

## エカラット サンクナカップ (タイ)

私のケネル United Chow Chowsはタイで初めてアメリカで勝負した犬を繁殖し、成功を収めたことで知られるようになりました。他にもシーズー、ポメラニアン、Eポインター、AMコッカー、スムースフォックステリア、ゴールデンなどのトップウィニングドッグも所有しておりました。

私は、ブリーダージャッジとして、犬のブリードスタンダードタイプに重きを置いた審査をし、犬のタイプについて教育する立場でもあります。

自国の他に、アメリカ、カナダ、ロシア、オーストラリア、ニュージーランド、FCIワールドショーでの審査経験があります。

愛すべき日本での審査を楽しみにしております。

## アン クリスティン ヨハンソン (スウェーデン)

私は1973年にラフコリーのブリーディングを始め、その直後、最初のアメリカンコッカースパニエルを所有しました。コリーは3回のブリーディングに終わりましたが、アメリカンコッカーのブリーディング、ショーイングは30年間情熱を注ぎ、多数のCH. クラフト展のBOBの他、グループウィナーやBISウィナーを多くの国で受賞しました。

現在、私の情熱はフレンチブルドッグに注いでいます。複数の国で活躍して、ドイツでのFCIワールドショーウィークにジャーマンジュニアウィナーとなりました。

1996年より審査を開始、ヨーロッパ各国、イギリス、ロシア、日本での審査経験があります。